



11月上旬、中旬の2回に渡って、3学年の「総合実践」では、日本郵便 経営企画部 サステナビリティ推進室の方をお迎えしてワークショップをおこないました。内容は12月に生徒たちが日本郵政/日本郵便の方へ『SDGs・ビジネスの視点から「社会的課題解決に向けた郵便局のビジネスモデル、商品・サービス等の提案」についてプレゼンテーション発表を行うため、その進捗状況の確認や中間報告として自分たちが考えた内容について意見交換をしたりアドバイスをしてもらったりしました。講師の方からのアドバイスとして「郵便局はユニバーサルサービス義務が課されていること、共創プラットフォームとして関連する企業や団体等との連携があること、ビジネスであることを理解して取り組んでもらいたい」と言われ、生徒たちは普段は中々接することがない企業の方から直接指導をしてもらうことができる機会とあって、自分たちの取り組みについて積極的に講師の方と意見交換をしていました。今回の授業実践は探究的な学びと外部機関との連携「実学」を通して、3年間のビジネス学習の「実践的な総仕上げ」として位置付けとして取り組んでいます。

